



☆読書の秋です。

秋の夜長一読書を楽しむ季節になりました。そんな時は、読書をして過ごしてみましょ。本を読むことで、内容を
読み取る力や考える力や豊かな心がはぐくまれていきます。家庭でもたくさんの本に親しんでいただけたらと思います。
今回のうち学通信では、先生方のおすすめの本（題名・作者名）を紹介していきます。

延原校長先生	「さかなは さかな」 作 レオ＝レオニ ◎絵の美しさと自分らしさに気づける絵本です。
蓮尾教頭先生	「HILDA and THE TROLL(ヒルダとトロール)」 作 ルーク・ピアソン ◎オレンジ色・オリーブ色・青緑の色合いの美しいこと！ そんな世界を女の子が 冒険します。
森先生	「ずーっとずっとだいすきだよ」 作 ハンス・ウィルヘルム ◎ちょっと悲しいお話ですが、とてもあたたかいステキな言葉だから。。。
山形先生	「ねずみくんのチョコキ」 作 なかえ よしを ◎ネズミくんの赤いチョコキをつぎつぎに動物がやってきて着るのですが、どうな るのかとドキドキします。
栗山先生	「さる るるる」 作 五味 太郎 ◎さるの表情がリズムよく読める本です。大人が読んでも楽しい！
樋口先生	「神様の木の実」 作 関 宏美 ◎五條で有名なかきのがよくわかる本なのでおすすめです。
生多先生	「それからのおにがしま」 作 川崎 洋 ◎私も気になる・・・思わず読んでみたくなりますよ。
木村先生	「とりこしふくろう」 作 滑川まい ◎やさしいふくろうがとってもかわいいお話です。
高橋先生	「いのちのたべもの」 作 中川ひろたか ◎クレヨンで描かれた絵が美しく、いのちをいただくありがたさが伝わる本です！
山本先生	「ミリーのすてきなぼうし」 作 きたむらさとし ◎いろんな想像をして、すてきなぼうしをかぶるミリーがとってもかわいいです。
福井先生	「フレデリック」 作 レオ＝レオニ ◎一人はみんなのために、みんなは一人のためにがんばるお話です。
黒松先生	「おじいちゃんがおばけになったわけ」 作 キムフォップス・オカーソン ◎おじいちゃんとの思い出話が、感動します！

《先生方のおすすめの本》 part1

○図書室にもおすすめの理由を掲示しています。ご家庭で話題にいただき、おうちでの読み聞かせの参考にしてい
ただければと思います。

